

# Dr.わーだーの養生記

vol.9

## 「屋台と健康(3)」

こち  
心血医院

院長 和田 豊郁



1993年頃久留米にも屋台村が数軒でき屋台から路面店へという流れが加速しました。特徴的な屋台が一つ屋根の下に集まり天候気候に左右されずいろんな食べものが食べられにぎわいました。そこに1997年、広告料で成り立つ無料の情報誌が登場しました。雑誌がお店を紹介するというスタイルで紙質も良く多くの人が食い入るように読みました。載っていた特典を利用しなければ損とすら思えたものです。このときに躍進したのが居酒屋。メニューの多さと特典はまぶしかった。飲み放題、食べ放題が提供されるようになると集客力はますます強くなりました。屋台村は数年で姿を消しましたが設営と撤去が必要な屋台には戻れず。仕事帰りや部活後にちょっと一杯、も飲酒にまつわるトラブルが社会的に認識されてから激減。こうして外で食べるとおいしい、長時間座り込んで食べ続けられない、という健康的な行動を促す屋台文化は急速にしぼんでいったのでした。

### ■ 心血医院

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月~土〉9:00~12:00、〈月火・木金〉19:00~22:00

休診日:日祭・盆・年末年始